



姉妹都市交流促進オンラインセミナー ～日本とオーストラリアおよびニュージーランドの間の姉妹都市交流促進を目指して～

(一財)自治体国際化協会シドニー事務所 所長補佐 根木 勇也 (福岡県派遣)

クリアシドニー事務所は、オーストラリアの州・自治体またはニュージーランドの自治体と姉妹関係を構築している日本の自治体の職員などを対象に、姉妹都市交流促進オンラインセミナーを開催しました。

このセミナーは、新型コロナウイルス感染症パンデミックの最中であっても姉妹交流を促進することを目的とするもので、2021年度中に、オーストラリア版で2回、ニュージーランド版で2回、合同版で1回、合計5回のオンラインセミナーを開催しました。

多くの日本の自治体職員などの方々に参加いただき、好評の声をいただくことができましたので、その内容をレポートします。

第1回オンラインセミナー (オーストラリア版およびニュージーランド版)

第1回オンラインセミナーは、「日本とオーストラリアおよびニュージーランドの間の姉妹都市交流」をテーマとして、オーストラリア版(2021年7月)とニュージーランド版(2021年8月)でそれぞれ開催しました。

セミナーでは、クリアシドニー事務所所長が、「クリアおよびクリアシドニー事務所の概要」、日本とオーストラリアおよびニュージーランドの間の「地方自治制度の相違点」と「姉妹都市交流の状況」、そして両国の「新型コロナウイルス感染症の状況」について、プレゼンテーション資料を用いて説明しました。

本セミナーを通じて、参加した日本の自治体職員などの方々にクリアおよびクリアシドニー事務所の役割や業務内容を詳しく知っていただくことで、今後の姉妹都市交流促進に向けて日本の自治体などとクリアシドニー事務所の連携を強化することができました。

また、セミナー参加者からは、「地方自治制度の日本との違いを学ぶことができ参考になった」「現地の新

型コロナウイルス感染症の状況がわかって良かった」といった感想をいただき、日本の自治体などで姉妹都市交流事業を担当する職員の方々が、新型コロナウイルス感染症パンデミック下においても姉妹都市提携先の状況に強い関心を持っていることを実感しました。

日豪間姉妹都市交流の状況

日豪間姉妹都市交流の特徴

1. 豪州から見て日本は最大の姉妹都市提携先
2. 学生・教育交流が盛ん
※豪州は人口当たりの日本語学習率が世界一
3. 時差が小さく、オンライン交流が容易
4. 共通点が多い(民主主義の熟度、治安の良さ、豊かな自然環境など)
5. 極めて良好な両国間関係に支えられている

第1回オンラインセミナー(オーストラリア版)のプレゼンテーション資料の一部

第2回オンラインセミナー (オーストラリア版)

オーストラリア版の第2回オンラインセミナーでは、クイーンズランド地方自治体協会のポール・クランチ氏をお招きし、「日豪間の姉妹都市交流について～豪州の視点から～」をテーマに、「姉妹都市の未来」と題した講演を行っていただきました。

クランチ氏は、日本の自治体で英語教育を推進した経験を有しており、現在はクイーンズランド州の自治体の姉妹都市交流の支援にも携わっています。こうした経験に基づき、クイーンズランド州内の自治体の取り組みや、日本の自治体との姉妹都市交流の状況について説明いただきました。さらに、参加者から事前に質問いただいたオンラインでの教育交流の実現性や、



講演を行うクランチ氏

日本の自治体とクイーンズランド地方自治体協会との今後の連携の可能性についてもアドバイスいただきました。

セミナー参加者からは、「オーストラリアの自治体の姉妹都市に対する考え方がわかった」「オンラインでの交流案を聞くことができ参考になった」といった感想をいただき、今後ますます姉妹都市交流の深化が期待できると感じました。

第2回オンラインセミナー (ニュージーランド版)

ニュージーランド版の第2回オンラインセミナーでは、在ニュージーランド日本国大使館広報文化センター長の石津知貴氏とニュージーランド姉妹都市協会会長のモリス裕美氏をお招きし、ニュージーランドにおける姉妹都市交流の状況や新型コロナウイルス感染症対策の状況などについてお話しいただくとともに、参加者との意見交換を実施しました。



ニュージーランド姉妹都市協会の紹介

意見交換の場では、姉妹都市交流のさらなる進展を期待する日本の自治体職員などの方々から多くの質問が寄せられ、石津氏とモリス氏から現地ならではの視点でのアドバイスをいただきました。また、参加者からは在ニュージーランド日本国大使館やニュージーランド姉妹都市協会、クリアシドニー事務所との今後の連携強化を希望するといったお話もいただき、日本とニュージーランドの自治体間の姉妹都市交流の促進に向けて着実に連携を進展させることができました。

なお、この意見交換をきっかけとして、参加した自治体職員などの方同士が連絡先を交換し、セミナー後お互いの姉妹都市交流の手法などに関する情報交換のために関係を構築するといった望ましい出来事もありました。

第3回オンラインセミナー (オーストラリアおよびニュージーランド合同版)

オンラインセミナーの最終回として、オーストラリア

とニュージーランドの合同版の第3回オンラインセミナーを開催しました。本セミナーは、シドニー工科大学公共政策研究所長兼地方自治体センター長、シドニー工科大学公共政策研究所兼地方自治体センター地方自治体フェロー、カンバーランド市副ジェネラルマネージャー、ニュージーランド地方自治体協会首席政策アドバイザーをパネリストとしてお招きし、「COVID-19 パンデミック下にオーストラリアとニュージーランドの自治体が直面する課題」をテーマに、パネルディスカッションを行いました。

各パネリストから、オーストラリアおよびニュージーランドの自治体の新型コロナウイルス感染拡大への対応の状況や成果や課題などを説明いただくことで、それぞれの地域で得られたさまざまな知見が参加者に共有されました。

日本とオーストラリアとニュージーランドとそれぞれ国は異なりますが、各自治体における新型コロナウイルス感染拡大への対応の状況や成果や課題などに共通する点も多く、オーストラリアの州・自治体やニュージーランドの自治体との姉妹都市交流を充実させていくうえで、日本の自治体職員などにとってとても有益な内容となりました。



パネルディスカッションに参加したパネリストの皆さま

セミナー参加者からは、「高齢化社会におけるコミュニティ支援やDX化の推進など、両方で学ぶべきことがあるとわかった」「多様な言語を使用する住民に対する情報発信の方法が参考になった」との感想をいただき、今後の姉妹都市交流における新しい交流の展開の在り方のヒントを得られました。

クリアシドニー事務所では、今後とも、オーストラリアの州・自治体またはニュージーランドの自治体と姉妹関係を構築している日本の自治体の職員などの方々を連携しながら、姉妹都市交流を促進していきます。